

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコールの提出が必須です
プロトコールがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	ベルズチファン(腎細胞癌)	がん治療ワーキンググループ使用欄	
診療科名	腫瘍内科	登録番号	Ur-70
診療科責任者名	大山 優	登録日・更新日	2025年8月26日
適応がん種	がん化学療法後に増悪した根治切除不能又は転移性の腎細胞癌	削除日	
保険適応外の使用	☐ 有 ☒ 無	出典	ウェルレグ錠投与の手引き
入院外来区分	☒ 入院 ☐ 外来	入力者	田中 慎

投与順に記入(抗がん剤のみ)						
	薬剤名:一般名 (薬剤名:商品名) 希釈液	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
No.1	ベルズチファン (ウェルレグ錠)	40mg	120mg/body	☐ IV ☐ DIV ☐ CV ☐ 側管 ☒ その他(po)	なし	連日
	-					

1コースの期間	-																		
投与間隔の短縮規定	☐ 短縮可能(日)・ ☐ 短縮不可能																		
計算後の投与量上限値	110%																		
計算後の投与量下限値	50%																		
減量・中止基準	本剤投与により副作用が発現した場合には、下表を参考に、本剤を休業、減量又は中止すること。 減量する場合には、用量を40mg(1段階)ずつ減量すること。 【副作用に対する休業、減量及び中止の目安】 <table><tr><td rowspan="2">貧血</td><td>Grade3</td><td>Grade 2以下に回復するまで休業し、回復後に、同一用量又は1段階減量して再開できる。 重症度及び持続性に応じて投与中止を検討する</td></tr><tr><td>Grade4</td><td>Grade 2以下に回復するまで休業し、回復後に、1段階減量して再開できる。 再発した場合は投与を中止する。</td></tr><tr><td rowspan="3">低酸素症</td><td>Grade3</td><td>患者の状態により投与を継続できる。 休業する場合には、Grade 2以下に回復するまで休業し、回復後に、1段階減量して再開できる。 重症度及び持続性に応じて投与を中止する。</td></tr><tr><td>Grade3 かつ 症候性</td><td>Grade 2以下に回復するまで休業し、回復後に、1段階減量して再開できる。 重症度及び持続性に応じて投与を中止する。</td></tr><tr><td>Grade4</td><td>投与を中止する。</td></tr><tr><td rowspan="2">上記以外の副作用</td><td>Grade3</td><td>Grade 2以下に回復するまで休業し、回復後に、1段階減量して再開できる。 再発した場合は投与を中止する。</td></tr><tr><td>Grade4</td><td>投与を中止する。</td></tr></table> GradeはNCI-CTCAE (Common Terminology Criteria for Adverse Events) v5.0に準じる。		貧血	Grade3	Grade 2以下に回復するまで休業し、回復後に、同一用量又は1段階減量して再開できる。 重症度及び持続性に応じて投与中止を検討する	Grade4	Grade 2以下に回復するまで休業し、回復後に、1段階減量して再開できる。 再発した場合は投与を中止する。	低酸素症	Grade3	患者の状態により投与を継続できる。 休業する場合には、Grade 2以下に回復するまで休業し、回復後に、1段階減量して再開できる。 重症度及び持続性に応じて投与を中止する。	Grade3 かつ 症候性	Grade 2以下に回復するまで休業し、回復後に、1段階減量して再開できる。 重症度及び持続性に応じて投与を中止する。	Grade4	投与を中止する。	上記以外の副作用	Grade3	Grade 2以下に回復するまで休業し、回復後に、1段階減量して再開できる。 再発した場合は投与を中止する。	Grade4	投与を中止する。
貧血	Grade3	Grade 2以下に回復するまで休業し、回復後に、同一用量又は1段階減量して再開できる。 重症度及び持続性に応じて投与中止を検討する																	
	Grade4	Grade 2以下に回復するまで休業し、回復後に、1段階減量して再開できる。 再発した場合は投与を中止する。																	
低酸素症	Grade3	患者の状態により投与を継続できる。 休業する場合には、Grade 2以下に回復するまで休業し、回復後に、1段階減量して再開できる。 重症度及び持続性に応じて投与を中止する。																	
	Grade3 かつ 症候性	Grade 2以下に回復するまで休業し、回復後に、1段階減量して再開できる。 重症度及び持続性に応じて投与を中止する。																	
	Grade4	投与を中止する。																	
上記以外の副作用	Grade3	Grade 2以下に回復するまで休業し、回復後に、1段階減量して再開できる。 再発した場合は投与を中止する。																	
	Grade4	投与を中止する。																	
催吐性リスク	該当なし																		
前投薬	なし																		
支持療法(その他)	なし																		
その他の注意事項	・本剤の術後補助療法における有効性及び安全性は確立していない。 ・妊娠する可能性のある女性には、本剤投与中及び最終投与後1週間において避妊する必要性及び適切な避妊法について説明すること。 ・男性には、本剤投与中及び最終投与後1週間においてバリア法(コンドーム)を用いて避妊する必要性について説明すること。 ・PD-1/PD-L1阻害剤及びVEGF受容体チロシンキナーゼ阻害剤による治療歴のない患者に対する本剤の有効性及び安全性は確立していない。 ・他の抗悪性腫瘍剤との併用について、有効性及び安全性は確立していない。 ・エリスロポエチン(EPO)減少に伴う貧血があらわれることがあるので、本剤投与開始前及び投与期間中は血液検査(ヘモグロビン値測定等)を定期的に行い、患者の状態を十分観察すること。 ・低酸素症があらわれることがあるので、本剤投与開始前及び投与期間中は動脈血酸素飽和度(SpO2)を定期的に測定すること。																		